

「憲法研究会」の開催状況について

当研究所では、2003年度より、「憲法研究会」（主査＝結城洋一郎・小樽商科大学名誉教授→2018年度より清末愛砂・室蘭工業大学准教授）を設置し、憲法問題に関する研究を続けています。

本研究会は、憲法改正を前提とした様々な憲法論議や有事法制等の制定などが進められていた2000年代前半期、憲法学の基礎、日本における憲法の歴史、日本国憲法の本質、戦後の憲法の運用実態などをあらためて学び、今日における憲法の意義や役割を確認することを目的に設置され、2003～05年度は憲法に関する基本的な学習に取り組みました。

その後、小泉政権（2001～06年）による構造改革等の影響により、国内で格差・貧困問題が深刻化したことから、研究テーマを「憲法第25条を中心とする社会権の国内状況」にシフトし、本研究会の活動の一環として、2008年度に「生活権研究会」を立ち上げ、2016年度まで3期32回の研究会、道内自治体の現地調査などを続けてきました。

また、第2次安倍政権発足以降、憲法改正にかかる動きが活発化するなかで、2016～17年度より、あらためて研究会設立当初の理念に立ち帰ったテーマにも合わせて取り組むこととし、憲法市民講座を開催しました。

2018年度からは、研究会の主査に交代を受け、新しい体制のもとでの活動をスタートさせました。

本研究会の2003～20年度の活動は以下のとおりです。

1 憲法に関する学習（2003～05年度）

（1） 第1回研究会

- 日時 2004年2月27日（金）15:00～17:00
- 会場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内容
 - 講義①「現在の憲法をめぐる状況について」
 - 講義②「憲法とは何か」
 - 講師：結城洋一郎 氏（小樽商科大学教授）

(2) 第2回研究会

- 日時 2004年3月29日(月) 15:00~17:00
- 会場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内容
講義「立憲主義について」
講師：結城洋一郎 氏(小樽商科大学教授)

(3) 第3回研究会

- 日時 2004年5月10日(月) 15:00~17:00
- 会場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内容
講義「明治憲法から日本国憲法へ」
講師：結城洋一郎 氏(小樽商科大学教授)

(4) 第4回研究会=2005年度第39回定期総会記念講演会

- 日時 2005年6月13日(月) 15:30~17:30
- 会場 北海道自治労会館 3F 中ホール
- 内容
講演「現在の憲法状況についての見解」
講師：奥平康弘 氏(東京大学名誉教授)
対論：結城洋一郎氏(小樽商科大学教授/当研究所理事)

→ 第4回研究会の内容は、所報2005年7月号(第438号)に掲載。
奥平康弘+結城洋一郎「現在の憲法状況について見解」

2 生活権研究会(2008~16年度)

- (1) 第1期(2008年4月~2009年5月) 労働法・労働問題
- (2) 第2期(2009年10月~2013年3月) 社会保障
- (3) 第3期(2013年7月~2017年3月) 教育、交通、住宅、福祉

※ 詳細については、「生活権研究会」の開催状況についてを参照。

3 憲法市民講座（2016～17年度）

(1) 第1回憲法市民講座＝2016年度第52回定期総会記念講演会

- 日時 2016年6月13日（月）15:30～17:00
- 会場 北海道自治労会館 4F 第4会議室
- 内容
講演「自民党憲法改正草案の危険性と情報統制の問題を考える」
講師：結城洋一郎 氏（小樽商科大学名誉教授／当研究所副理事長）

→ 本講座の内容は、所報2016年7月号（第570号）に掲載。
結城洋一郎「自民党憲法改正草案の危険性と情報統制の問題を考える」

(2) 第2回憲法市民講座＝2016自治講座「憲法と地方自治の諸相」

- 日時 2016年11月25日（金）13:30～17:00
- 会場 北海道自治労会館 3F 中ホール
- 内容
講演①「憲法と地方自治－これまでとこれから」
講師：河上暁弘 氏（広島市立大学広島平和研究所准教授）
講演②「地方分権改革と辺野古訴訟」
講師：白藤博行 氏（専修大学法学部教授）

→ 本講座の内容は、所報2017年1月号（第576号）に掲載。
・ 河上暁弘「憲法と地方自治－これまでとこれから」
・ 白藤博行「地方分権改革と辺野古訴訟」

(3) 第3回憲法市民講座＝第53回定期総会記念講演

- 日時 2017年6月14日（水）15:30～17:00
- 会場 北海道青年会館 4F 講堂
- 内容
講演「憲法と地方自治－実質ある民主主義政治体制に向けて」
講師：新藤宗幸 氏（公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所
理事長）

→ 本講座の内容は、所報2017年8月号（第583号）に掲載。
新藤宗幸「憲法と地方自治－実質ある民主主義政治体制に向けて」

4 憲法研究会（2018年度～継続中）

【2018年度】

(1) 2018年度第1回憲法研究会

- 日時 2019年1月10日（水）15:00～17:00
- 会場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内容
 - 講演「今般の改憲問題の動向について」
 - 講師：清末愛砂 氏（室蘭工業大学大学院准教授）

→ 本研究会の内容は、所報2019年3月号（第602号）に掲載。
清末愛砂「自民党の改憲条文素案の問題性について」

【2019年度】

(2) 2019年度第1回研究会

- 日時 2019年5月10日（金）14:00～16:30
- 会場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内容
 - 講演「ヘイト・スピーチ問題と表現の自由」
 - 講師：池田賢太 氏（弁護士）

→ 本研究会の内容は、所報2019年7月号（第606号）に掲載。
池田賢太「ヘイト・スピーチ問題と表現の自由」

(3) 2019年度第2回研究会 = 市民講座「アジアから見た日本の改憲問題」

- 日時 2019年8月24日（土）15:00～17:30
- 会場 北海道自治労会館 4F 4階ホール
- 内容
 - ・ 講演「アジアから見た日本の改憲問題」
講師：永山茂樹 氏（東海大学法学部教授）
 - ・ 対談 永山教授＋清末主査

→ 本講座の内容は、所報2019年11月号（第610号）に掲載。
永山茂樹＋清末愛砂「市民講座 アジアから見た日本の改憲問題」

(4) 「憲法理念の実現をめざす第56回護憲大会」への参加・協力

- 日時 2019年11月9日(土) 15:00～11日(月) 12:00
- 会場 函館アリーナ ほか
- 参加 佐藤理事長、正木研究員、高野研究員
- 内容
 - ・ メイン企画「日本社会は本当にこれでいいのか？安倍政権の7年を問う！」
パネリスト 雨宮処凛 氏(作家・活動家)
中野麻美 氏(弁護士)
司会 清末愛砂 氏(室蘭工業大学大学院准教授)
 - ・ 分科会(「非核・平和・安全保障」をはじめ、全7分科会を開催)

→ 本大会に関するレポートは、所報2020年1月号(第612号)に掲載。
TOPIC「函館で護憲大会初開催、2000人が参加」

(5) 2019年度第3回憲法研究会

- 日時 2020年3月4日(水) 15:00～17:00
- 会場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内容
 - 報告「道東で安保法制違憲訴訟を行う意味について」
講師：斉藤道俊 氏(弁護士)

→ 本研究会の内容は、所報2020年5月号(第616号)に掲載。

【2020年度】

(6) 「憲法理念の実現をめざす第56回護憲大会」メイン企画のブックレット化への協力

- タイトル 『日本社会は本当にこれでいいのか？安倍政権の7年を問う！』
- 著者 雨宮処凛／中野麻美／清末愛砂
- 発行者 フォーラム平和・人権・環境
- 編集 当研究会(担当：正木浩司)
- 発行所 八月書館
- 発行日 2020年11月27日

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上